

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-109	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
35・清水	歴総 035-901	改訂版 私たちの歴史総合		

1 編修の基本方針

本書は、教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、以下の基本方針に基づき編修されました。

① 教育基本法第2条第1号に関して

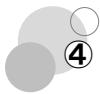
- ▶日本と世界の近現代に関する知識を身に付け、日本人あるいは地球市民としての教養とともに、その知識を生かして現代の社会を主体的に考察し、さまざまな事象と課題の真理を追求してよりよい未来を築くことができるよう、豊富な資料と平易な文章を用いて叙述しました。
- ▶人類共通の経験としての歴史を謙虚に学び多角的に考察する姿勢を重視し、公正な態度や道徳心を養うことができるよう配慮しました。また、生徒たちが主体となって学習活動を行えるよう問い合わせ随所に配置し、情操面・身心における成長の促進にも資するものとしました。

② 同第2号に関して

- ▶個人の価値が見出され尊重されるようになってきた歴史的経緯を記述することによって、その重要性を知り、自他の価値と能力を互いに認め合う姿勢を身に付けることをめざしました。
- ▶創造や自主・自立の精神を重んじ、それらを育むことができるよう、先人たちが政治・経済・文化活動や技術開発などあらゆる分野で不斷の努力を重ねて職分を全うし、よりよい社会・生活と豊かな人間性を追求してきたことを系統的に記述しました。

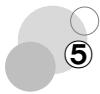
③ 同第3号に関して

- ▶民主主義や基本的人権、男女の平等などが先人たちの努力によって歴史的に獲得されたものであることを記述し、それらを重んじ発展させていくことの大切さを理解するとともに、その実現のために主体的な取り組みや他者との協力を重視する態度を養うことをめざしました。
- ▶社会の発展や公共の福祉に尽くしてきた先人の歩みを記述し、社会に主体的に参画することの必要性を理解できるよう配慮しました。



④ 同第4号に関して

- ▶歴史の中では時に多くの人命が危機にさらされるできごとがあったこと、また人々がそれを克服してきたことをも記述し、生命の重大な価値に気付かせ、それを尊ぶ姿勢と心を培うことができるよう配慮しました。
- ▶歴史を通じて人々が多様な自然環境の中でそれを利用・開発しながら生活を営んできたことを記述し、これを通して自然とのかかわり方を考え、共生をはかる態度を育成することをめざしました。



⑤ 同第5号に関して

- ▶日本や世界の諸地域が、互いに関連しながら特色ある伝統と文化を形成し発展させてきたことについて、写真や地図などを多用しながら記述し、さまざまな歴史的遺産と伝統・文化の価値を見出し、それらとそれらを生み出した地域や人々に敬愛の念をもち、尊重する態度を養うことをめざしました。
- ▶日本を含む世界の歴史上の人々が自己の郷土や国家の発展に尽力してきたことを記述し、自他の国や文化・宗教などを互いに尊重し国際理解・異文化理解に努める態度を養うとともに、国際社会の諸課題と恒久平和のために能動的に取り組む姿勢を培うことができるよう配慮しました。

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1編 歴史の扉	高等学校の歴史学習の導入として、身近な事象を題材に歴史的視点や基本的技能を身につけることができるよう意を用いました（第1号）。	第1編全て
	世界におけるスポーツの歴史や日本の伝統的なスポーツとその広がりを取り上げ、自他の文化や郷土に親しみをもつことができるよう配慮しました（第5号）。	4~5 ページ
	歴史資料を用いて考察し、自らの考えを構築とともに、他者の意見や考えを尊重し、協力して課題の解決に向かうことができるよう配慮しました（第2号・第3号）。	6~7 ページ
第2編 近代化と私たち	日本と世界の近代化の歴史について、そこに現れたさまざまな社会的課題や成果を丁寧に記述し、資料や問い合わせを通じて生徒のより深い理解と多角的な考察を促すことに意を用いました（第1号）。	第2編全て
	官民を問わずさまざまな人が将来を見据えながら自主的・自律的に改革や運動、学問、勤労に邁進して新時代を築いた様子を、具体的な人物や事例を挙げながら記述しました（第2号）。	8~11, 20~21, 26, 28~35, 40~41 ページ

	<p>民主主義や基本的人権など自由と平等を尊重する動きが広まつたことを記述し、政治・経済や教育・文化などあらゆる面において改革が行われた経緯と今日に至る近代社会の歴史的意義を捉え、公共の福祉と主体的な社会参画のあり方について考察することができるよう配慮しました（第3号）。</p> <p>産業の発達や世界の一体化にともない開発が進められたこと、一方でそれが環境の悪化をもたらすことなどに触れ、自然とのかかわり方や環境保全について理解と考察を深められるよう留意しました（第4号）。</p> <p>新たな航路の開拓や世界商業の進展により世界の一体化が促進された一方、列強により世界分割が行われ、各地の伝統的な産業や文化が変容を迫られていったことを記し、平等かつ平和的な国際関係の構築と相互の価値観や伝統を尊重することの重要性に気付かせることに意を用いました（第5号）。</p>	20~21, 28~35, 40~41 ページ
		14~17, 20~21 ページ
		第2編全て
第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	<p>二つの大戦期と戦後における国際秩序の変化や大衆化の歴史について、そこに現れたさまざまな社会的課題や成果を丁寧に記述し、資料や問い合わせを通じて生徒のより深い理解と多角的な考察を促すことに意を用いました（第1号）。</p> <p>この時代に現代の私たちの生活様式の基礎が形成されたことや、戦争・対立、世界経済の動向がもたらす生活や労働への影響を記述し、生徒が自らの生活のあり方や、それにかかる現代的な社会問題を客観的に捉え直す契機となるよう配慮しました（第2号）。</p> <p>民主主義や人々の権利・平等などが、戦争や植民地支配・差別などによって著しく制限された様子を記すとともに、差別の解消や権利の獲得に積極的に取り組んだ人々やその運動について記述しました（第3号）。</p> <p>戦争や対立により多大な人命が人為によって失われ、国土の荒廃や環境破壊にもつながる兵器が使用されたことなどを記述し、生命と自然を尊重する心を育成できるよう意を用いました（第4号）。</p> <p>二つの大戦が起こった経緯を考察することにより、対話の重要性に気付かせ、平和的な国際社会の構築と発展を希求し、それに寄与する姿勢を育むことができるよう配慮しました（第5号）。</p>	第3編全て
第4編 グローバル化と私たち	<p>冷戦期におけるグローバル化の歴史について、そこに現れたさまざまな社会的課題や成果を丁寧に記述し、資料や問い合わせを通じて生徒のより深い理解と多角的な考察を促すことに意を用いました（第1号）。</p>	53, 56~67, 74~75, 78~79, 82~85, 88~89 ページ
		54~55, 78~79, 82~83 ページ
		第3編全て
		第4編全て

	世界各地で民主化がはかられるとともに、経済成長などを通じて労働や生活状態に変化と向上が見られたこと、また、新たな問題も生まれてきたことを記述しました（第2号）。	第4編全て
	植民地の独立や民主化、差別解消などの実現に向けて、様々な運動や改革が行われてきたことを記述し、それらの維持とさらなる発展のために、他者と協力して工夫を重ねることの必要性とその課題について考察できました。	101～105、114～115、122～125、132～133ページ
	産業の発展や戦争、核開発などにより自然環境や人々の健康を脅かすできごとがあり、克服の試みがなされてきたこと、一方で未解決の問題があることも記述しました（第4号）。	102、106～108、114～117ページ
	これからの国際社会における課題や、これからの日本が国際社会において果たすべき役割を生徒が主体的に考察し、国際社会の平和と発展に主体的に関わっていく自覚と責任をもつ契機となるよう、配慮しました（第5号）。	124～137ページ

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ▶ **判型をA4判として資料を豊富に、かつ大きく掲載**し、資料を用いた探究活動を円滑に進められるよう工夫しました。
- ▶ 高校生の発達段階を考慮し、**平易で簡明な文章**を心がけました。また、学習の取り組みやすさに配慮し、本文では**人名を青色の文字**としました。
- ▶ **ユニバーサルデザインに配慮**し、できる限り多くの生徒にとって読み取りやすい教科書となるよう意を用いました。ユニバーサルデザイン・フォント、カラーユニバーサルデザインに考慮した配色を、全編を通じて取り入れました。
- ▶ 各单元には**扱っている地域を示すツメや、年代・世紀を示すスケールを配置**し、どの地域・時代を学んでいるのかをわかりやすく示しました。
- ▶ **巻末に補足資料や用語解説、日本の歴代内閣総理大臣一覧、年表**などを付し、学習の助けとしました。
- ▶ **人物にはさくいんにおいて生没年または在位年を付記**し、学習の助けとしました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-109	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
35・清水	歴総 035-901	改訂版 私たちの歴史総合		

1 編修上特に意を用いた点や特色

① 資料と問い合わせにもとづき主体的に探究する

- 写真や文字史料、地図、年表、統計などの**多様な資料を豊富に掲載**するとともに、それらを活用して思考・判断・表現することを促す**問い合わせを設定**し、主体的・対話的で深い学びの実現をめざしました。
- 歴史的な見方・考え方を働きかせ、**歴史事象を多面的に考察**できるよう、資料を精選しました。

▼p.16~17

3 18世紀のイギリスとアジア、アフリカとの貿易

16世紀末、コロニアル貿易の裏手はポルトガルやスペイン、フランスになっていたが、18世紀にはイギリスが登場した。それはその国や地域にどのような変化をもたらしたのだろうか?

資料① イギリス東印度会社の主要輸入品

#	中国	コーヒー	タバコ	麻の葉	錦	生糸	漆器	香料
1670	0	23	23.2	5.1	1.0	0	69.9	
80	0.5	1.3	0.8	9.7	1.0	5.3	0	78.2
90	3.6	8.1	0.3	29.2	2.2	9.9	1.1	39.5
1700	7.1	2.4	3.9	5.4	9.3	3.0	45.7	
10	0.3	3.1	7.2	4.1	2.9	7.6	1.1	70.1
20	0.5	8.1	0.3	2.5	2.8	4.5	2.0	
30	1.9	9.2	1.7	1.6	1.6	9.0	18.1	66.1
40	1.2	3.7	—	1.3	1.7	0.2	13.2	68.3
50	0.9	3.8	—	3.6	0.5	2.2	22.6	66.3
60	1.0	5.7	0.3	2.0	2.2	12.0	39.5	

*中華人民共和国の輸出額。



資料② 18世紀前半のイギリスの茶葉風景

■17世紀半ば、イギリスは主に西ヨーロッパ、南ヨーロッパ、北ヨーロッパから茶葉が輸入されていた。その後、世界に茶葉の需要が高まると、中国から輸入される茶葉が増加していった。そこで、イギリスの上層階級の間で、茶葉の嗜好が人気となっていった。

資料③ ダニエル・デフォーの言葉

キャラコは日々の茶やヨーロッパ、寝入り豆、ガーネン、クランベリー、豆入り豆、ドライフルーツ、キャラコのさとうきび、ヨーロッパが栽培されているものはない。それで、女房のドレスや茶葉などにさとうきびで、キャラコやフルーツで作られてきたものがほとんどが、インド洋風にあって何處で見ても見つかる。たとのう。

(A Review of the State of the British Nation 1709)

*ダニエル・デフォーはイギリスの小説家、ジャーナリスト。17世紀後半から18世紀初頭にかけて、多くの小説や論述で、社会問題や政治批評を行った。

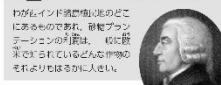
資料④ 18世紀の大西洋三角貿易



資料⑤ ヨーロッパ商人による奴隸購入の様子



資料⑥ アダム・スマス[雷電論] (1776年)



資料⑦ サトウキビのプランテーション



ヨーロッパの世界 15世紀末からポルトガルが東進とその影響

回りで、スペインが西回りでアジアへいたる航路を開拓すると、西欧諸国はアジアやアフリカ、アメリカ大陸に進出した。17世紀にはオランダがヨーロッパ経済の中心をない、江戸時代の日本とも貿易をおこなった。17世紀後半には、イギリスとフランスが、競うように北アメリカとカリブ海の西インド諸島に植民地を築いた。

このころ、ヨーロッパでは中国通商(シノワズリ)が流行し、中国産の磁器が重宝された。中国の通商がわくわくされた。イギリスは、東印度会社を通じてアジア貿易の拡大をはかり、インドからは綿織物(キャット)を、中国からは茶をさかんに輸入した。

一方、アメリカ大陸とヨーロッパとを結ぶ貿易では、熱帯、亜熱帯の植民地で生産された商品作物がおもに取引された。これらの商品作物は、ヨーロッパ市場向けにプランテーションで集約的に生産された。こうして、「アジアの豊かな農作物」や、西インド諸島の砂糖やコфеー、北アメリカ南部のタバコなどとの貿易がヨーロッパ市場に流入し、ヨーロッパの人々の生活を一変させた(生活革命)。

プランテーションでの労働には、当初はアメリカ大陸の先住民があつたが、過度な労働とヨーロッパからもたらされた人種差別のためにその人口が激減すると、かわりにアフリカから多数の黒人が奴隸として輸入された。ヨーロッパの奴

隸商人は、アフリカ人の集団どうしの争いに兼じて、その捕虜を奴隸として購入した。こうして、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ植民地を結ぶ大西洋三角貿易が、18世紀の西欧諸国にとって商業活動の中心となつた。

世界貿易の発展を 国際商業の利益をめぐり、17にぎったイギリス ~18世紀にかけて西欧諸国は

たがいに争つた。とくにイギリスとフランスによる植民地をめぐる争は、アジアやアメリカ大陸の各地でおこなわれた。イギリスは、開拓創設の整備などにより優越調達の面で優位に立ち、18世紀半ばまでに、北アメリカ大陸の北部と東部を領有した。

また、当時名をかりの存在になつていたムガル帝国統治下のインドでも、イギリスがフランスを追い出し、インドの植民地化を始めた。

18世紀を通じて、イギリスは大西洋二角貿易をはじめとする国際商業と植民地経営で圧倒的な優位を確立し、国際商業から得られる富を国内産業に活用して、産業革命に結びついた。その後、首都ロンドンのシティは国際商業と金融の中心地として栄えた。

アフリカ ヨーロッパ アメリカ アジア

▶16世紀半ばに亞洲でボトミル山が爆發すると、スペインが先住民を駆逐して奴隸としてヨーロッパへ輸入した。

▶2 あるドイツ領地としていたイギリスの開拓会社は、奴隸制度を導入し、古新聞で報じた通りの単価をもつてなつた。開拓の会社はオランダやラテン語でも述べられ、オランダの企業は株式会社の起源とされる。

▶3 奴隸や亡命者をもつて、熱帯の果樹園の第一の作物を栽培するためにつくられた大規模な農場。

▶大きな紙面で写真や図を読み取りやすくし、生徒自身が資料から新たな発見をしたり、新たな問い合わせ立てたりすることができるようになりました。

▼p.50~51

第3編 国際秩序の変化 や大衆化と私たち

技術革新により大眾に生まれ出された商品は、人々の暮らしをより便利で快適にした。一方で生活スタイルが單一化し、人々の考え方や行動はマス・メディアの情報に大きく影響されるようになった。こうした人々の集団は大衆とよばれた。

●世界一の商店街誕生！～アメリカ、ニューヨークの五番街～
五番街は、ニューヨーク、マンハッタン島の中心をほぼ南北に走る大通り。19世紀末から高級ブランドの店やデパート、豪華な邸宅が並び、1920年代からは超高層ビルも次々に建設された。人々を惹しませ、都市生活を大衆化させた。世界有数のショッピング街である。

500五番街ビル
(60階建て 212m)

五番街の交差点に面するビル
(シバースタートビル '93年完成
500五番街ビル '93年完成
ロックフェラーセンター '93年完成)

50 ウォーミングアップ 生活や社会の変化を読み取ってみよう

ウォーミングアップ 生活や社会の変化を読み取ってみよう

1 1937(昭和12)住居の日本のダーツの日本

食事や買い物を楽しんでいるのはどんな人？

新製品によって、暮らしはどう変わった？

2 金洗機の広告(1936年、アメリカ)

3 ナイロンストッキングのセールに集まる女性たち(1940年、ニューヨーク)
◆20歳未満のごとの都道府県や人の性別
◆20歳以上の都道府県や人の性別

4 フランスの航空会社の広告(1950年)

5 アメリカ合衆国の自動車登録台数

6 法律 ルードの登録
1950年実績: 253万台
1959年: 575万台
1964年: 2,040万台
(1964年実績)

◆フォードは1913年に2ドアルームランプだったが、1914年に4ドア車登場
◆1920年からごとの都道府県や人の性別
◆人々が歩いたこと、もの

1. 資料から生活様式の変化について考えてみよう
●技術革新による暮らしの変化に驚かれた人達
●20歳未満のごとの都道府県や人の性別
●人々が歩いたこと、もの

2. 疑問に思ったことをもとに、学んでいきたいことをあげてみよう

51

②「今」を考えるための歴史的思考力を培う

▶身近な事象や現代的な課題にもとづいて歴史を考察することにより、生徒の興味・関心を高め、**歴史を学ぶ意義**を実感できるよう、問いや資料に工夫をこらしました。

3 国際協調体制

第一次世界大戦の多大な犠牲は、国家間の対立を解決するために戦争を選ぶリスクの大きさを世界に知らしめた。

Q 第一次世界大戦後の世界では、戦争にたよらずに国家間の対立を解消するために、どのような仕組みを樹立したのだろうか？

◀p.58

資料6 隣組の設置と普及

→ジョガを通して、流行歌として全国に普及した。
→1940年、全国の都市には町内会、地方には部会が整備され、その中に10戸単位の隣組が作られた。この隣組で配給や防空訓練、相互監視がおこなわれ、国民を動員する単位となった。

資料7 雑誌「少年俱乐部」の連載漫画

「のらくろ」 寝容のない野良犬連隊(のらくろ)が猛犬連隊に入隊し、失敗と成功を重ねて出世していく物語。「少年俱乐部」に連載されて人気を集めると、單行本化され、キャラクターブックスもつくれた。以来、日本の漫文化は時代のニーズを反映しながら子どもたちの心をつかんできた。(のらくろ決闘隊員) '93年

空襲に備えておこなわれたパケツリー(1944年、長野県)

Q 探究しよう 国民と戦争

Q3 現在も残る町内会や回覧板は、どのような必要性から生まれ、なぜ今も残っているのだろうか？

Q4 資料7の漫画が子どもたちの人気を集めたのはなぜだろう？また、現代の人気漫画と時代のかかわりについても考えてみよう。

◀p.85

Q 探究しよう 国民と戦争

Q3 現在も残る町内会や回覧板は、どのような必要性から生まれ、なぜ今も残っているのだろうか？

Q4 資料7の漫画が子どもたちの人気を集めたのはなぜだろう？また、現代の人気漫画と時代のかかわりについても考えてみよう。

►コラムページでは現代や高校生にもつながる話題を取り上げ、「今」を歴史的視点から捉え直すとともに、自分も歴史的存在であると気づくことができるようになります。

(もっと) 知りたい

関連する単元》2編④⑦⑧

産業革命とプラスバンド

18世紀までの金管楽器

音楽系部活動の花形、吹奏楽部はプラスバンドとよばれることもあります。ただし、吹奏楽は管楽器と打楽器、プラスバンドは金管楽器と打楽器で編成されるため、両者は異なります。管楽器は有史以来や金属などを材料とし、戦争や儀式など金管楽器はマウスピースを口にあてて演奏します。

5

炭鉱労働者たちのバンド(1907年、イギリス)

◀p.27

歴史のなかの16歳

関連する単元》3編①②

満州に渡った若者たち

満州への農業移民と青少年義勇軍

満州への農業移民は、1936(昭和11)年、国策として本格的に始まりました。これは、満州国の日本人人口を増加させること、対ソ戦に備えた人口資源を確保すること、内地の農業人口を減少させることがねらいでした。20年後の満州国の人口を5000万と予想し、その1割に

5

▶p.81

満蒙開拓青少年義勇軍募集ポスター

「錆の戦士」

1941年、最初の義勇軍訓練生は3年間の現地訓練を終え、青年義勇隊としての生活を始めました。入植地は、

▼p.105

③歴史学習を生徒のこれからに生かす

- 公民としての資質を養うため、細かな知識を羅列するのではなく、小・中学校での既習事項や日常生活に根ざした**知識を活用しながら思考を深めること**に重点をおきました。
- グローバルな世界を生きる生徒に向けて、従来の日本史・世界史の別なく広く近現代史を捉え、現代世界を構成する**歴史や文化について自分事として理解を深めること**ができるように配慮しました。**日本のできごとも世界的な観点から理解できる**よう工夫しました。
- 時間的・空間的に広い視野を身につけながら、主体的・自律的に社会に参画し、**身の回りにある課題や社会的な課題を見出し解決に向かう力を育む**ことをめざしました。

▼p.24

6 日本の開国とその影響

イギリスの新聞には、アメリカの日本遠征の記事がたびたび掲載され、日本に向けて出港したペリー艦隊の動向も報じられていた。資料1 Q なぜ、世界は日本の開国に注目していたのだろうか？

資料7 学生運動と女性とファッション

↑1970年、国際反戦デーのデモに参加する女性たち(東京、銀座)。服装やヘルメットなどはユニセックスである。

?

探究しよう 新たな社会運動

Q4 これらの運動や集会に参加している人々はどのような人々で、どのような服装や髪型をしているだろうか？

資料78

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1編 歴史の扉	A 歴史の扉	4~7ページ	6
歴史と私たち	(1) 歴史と私たち ア・イ	4~5ページ	3
歴史の特質と資料	(2) 歴史の特質と資料 ア・イ	6~7ページ	3
第2編 近代化と私たち	B 近代化と私たち	8~49ページ	20
ウォーミングアップ	(1) 近代化への問い合わせ ア・イ	8~11ページ	3
	(2) 結び付く世界と日本の開国 ア(ア)・イ(ア)		
第1章 18世紀までの世界	ア(ア)・イ(ア)	12~19ページ	3
第2章 工業化と世界市場の形成	ア(イ)・イ(イ)	20~27ページ	3
	(3) 国民国家と明治維新 ア(ア)・イ(ア)		
第3章 国民国家と立憲体制	ア(ア)・イ(ア)	28~37ページ	4
第4章 帝国主義とアジア、アフリカの変容	ア(イ)・イ(イ)	38~47ページ	4
近代化と現代的な諸課題	(4) 近代化と現代的な諸課題 ア・イ	48~49ページ	3
第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち	50~95ページ	22
ウォーミングアップ	(1) 国際秩序の変化や大衆化への問い合わせ ア・イ	50~53ページ	3
	(2) 第一次世界大戦と大衆社会 ア(ア)・イ(ア)		
第1章 第一次世界大戦と国際社会	ア(ア)・イ(ア)	54~63ページ	4
第2章 1920年代の世界と大衆の時代の到来	ア(イ)・イ(イ)	64~71ページ	3
	(3) 経済危機と第二次世界大戦 ア(ア)・イ(ア)		
第3章 国際協調の挫折と2度目の世界大戦	ア(ア)・イ(ア)	72~81ページ	4
第4章 世界大戦がもたらしたもの	ア(イ)・イ(イ)	82~93ページ	5
国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ア・イ	94~95ページ	3
第4編 グローバル化と私たち	D グローバル化と私たち	96~137ページ	22
ウォーミングアップ	(1) グローバル化への問い合わせ ア・イ	96~99ページ	3
第1章 冷戦と国際政治	(2) 冷戦と世界経済 ア(ア)・イ(ア)	100~109ページ	4
第2章 世界経済の拡大と日本	(2) 冷戦と世界経済 ア(イ)・イ(イ) (3) 世界秩序の変容と日本 ア(ア)・イ(ア)	110~121ページ	5
第3章 冷戦終結とその後の世界	(3) 世界秩序の変容と日本 ア・イ	122~135ページ	6
現代的な諸課題の形成と展望	(4) 現代的な諸課題の形成と展望 ア・イ	136~137ページ	4
		計	70